

令和3年度教育事業
イングリッシュキャンプ in 曾爾

1. ねらい

- ・英語でのコミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ・活動を通して、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- ・日本語との表現の違いや英語による表現の面白さや豊かさを知る。

2. 実施日

令和3年12月25日(土)～26日(日)1泊2日

3. 対象者

小学校4、5、6年生、中学生

4. 参加者 / 募集定員

15名 / 25名

5. プログラム(要約)

国際交流と異文化理解をテーマに、様々な英語に触れることができる活動を実施した。外国の通貨に触れる機会として買い物体験、昆虫や動物などの英語名を知り、英語に親しみを持つためのウォークラリー、異文化に触れる機会として講師の講話、英作文と発表の場として英語を用いて班ごとにクリスマスツリーを紹介する活動やニューイヤーカードを描く活動を取り入れ、2日間を通して「見る」「聞く」「書く」「話す」すべてを体験できるよう工夫した。

6. 講師

アレクサンダー アンドリュー エドワーズ
アイザック ジェフリー ジェイコブス

〈スケジュール〉

○12月25日(土)

- ・オープニングセレモニー
- ・ワークショップ①
「英語を使って買い物をしよう」
「クリスマスツリーを飾り付けしよう」
- ・ワークショップ②
「イングリッシュウォークラリー」
- ・ワークショップ③
「日本と外国のクリスマスの違いを知ろう」

○12月26日(日)

- ・ワークショップ④
「自分たちのクリスマスツリーを紹介しよう」
「ニューイヤーカードを作ろう」
- ・クロージングセレモニー

・12月25日(土)

オープニングセレモニーでは、グループごとに自己紹介を行った。参加者は、初めはそれぞれ緊張した様子だったが、すぐに打ち解け、和気あいあいとした雰囲気の中でプログラムに参加していた。昼食後、英語を使った買い物活動をするとともに、クリスマスツリーの飾り付けを行った。買い物活動では、参加者はグループごとに店員(ALT)に英語で質問したり、店員からの質問に答えたりしていた。また、買い物活動で買ったオーナメントなどでツリーを飾り付け、楽しみながら活動していた。

午後は、館内にてウォークラリーを行った。参加者は、わからない単語をALTに尋ねたり、自分たちで知っている単語で話し合ったりして、課題をクリアしていった。

夕食後の活動では、二人のALTの出身国であるカナダやイギリスのクリスマスについて話を聞いた。カナダでは、ツリーは本物のモミの木を切って飾り付けることや、日本ではケーキを食べるが、イギリスではジンジャーなどの香辛料が入ったパイを食べるなど、外国との違いに驚いている様子だった。



・12月26日(日)

各グループのクリスマスツリーの特徴についてグループで話し合い、英語で作文した後、発表を行った。参加者は少し緊張した様子ではあったが、それぞれのツリーについて詳しく英語で説明していた。

最後はニューイヤーカードを書いた。こちらで用意した見本をもとに、イラストを入れたり、英文を書いたりして、自分だけのカードを作成した。



7. まとめ

参加者は、ALTからの質問に積極的に答えたり、英語を用いた体験活動に意欲的に取り組んだりしていた。アンケートでは、「将来、外国に行ったり外国語を話したりできるようになりたい」という回答も多く、異文化に関する興味関心や、外の世界に目を向ける意識の高まりを感じることができた。

(企画指導専門職 福島 茂樹)